

不育症の検査

| | 検査内容・原因 | 検査項目 | 費用 |
|-----|--|---|--------------------------|
| 保険) | 甲状腺機能検査 甲状腺機能亢進・低下症は着床や妊娠の継続を妨げてしまい、流産のリスクを上昇させると言われています。 | <ul style="list-style-type: none"> • TSH (甲状腺刺激ホルモン) • 遊離 T4 (遊離サイロキソン) • 抗 TPO 抗体 (抗甲状腺^hル^hチ^hグ^h -ゼ^h 抗体) | 2,100 円 |
| | 抗リン脂質抗体検査 規定の抗体のいずれかが陽性で、12 週間の間隔をあけて再度検査しても陽性の場合には、抗リン脂質抗体症候群と診断されます。子宮に血流障害が起こり、妊娠の継続を妨げてしまうとされています。 | <ul style="list-style-type: none"> • 抗カルジオリピン抗体 g G / g M • β2 グリコプロテイン I (β2GP I) g G / g M • LA (ループスアンチコアグラント) | 3,470 円 |
| 私費) | 免疫抑制機能検査 《Th1/Th2》 妊娠時は、胎児や胎盤を異物として攻撃する 1 型ヘルパー T 細胞 (Th1) は減少し、2 型ヘルパー T 細胞 (Th2) が優位となることで妊娠が維持されます。そのバランスが崩れ Th1 優位となると、妊娠の継続を妨げてしまうとされています。 《NK 細胞活性》 NK 細胞は、体内で異物を攻撃し排除する役割を持つ細胞です。NK 細胞の力が強い場合、妊娠の継続を妨げてしまうとされています。 | <ul style="list-style-type: none"> • 1 型ヘルパー T 細胞 / 2 型ヘルパー T 細胞 (Th1/Th2) • NK 細胞活性 | 27,500 円 (税込み) |
| | ビタミン D 検査 25-OH ビタミン D は、骨の形成を助け、カルシウムの吸収を促進します。最近では免疫やがん予防、生殖への影響など様々な働きが分かり、注目されているビタミンです。妊娠の継続との関連が考えられています。 | <ul style="list-style-type: none"> • 25-OH ビタミン D | 2,750 円 (税込み) |
| | 血液 5 種項目・血液凝固因子検査 貧血や血小板数異常、血液凝固因子欠乏などの有無を調べます。血液を止める働きに異常がある場合、血栓ができやすく、妊娠の継続を妨げてしまうとされています。 | <ul style="list-style-type: none"> • WBC、RBC、Hb、Ht、PLT • プロテイン C • プロテイン S • 第Ⅲ因子 | 3,850 円 (税込み) |
| 保険) | 染色体検査 染色体異常の保因者(*)かどうか調べます。 (*「染色体異常の保因者」とは、次の世代へ引継ぐ可能性のある染色体異常を持つ者のこと。) | <ul style="list-style-type: none"> • 妻 染色体検査 • 夫 染色体検査 | 妻：10,000 円 夫：10,000 円 |